

事業報告書

令和7年度(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

○ 事業の概況

地政学的リスクや円安などの影響による資源価格が高止まりや気候変動により異常気象が常態化する中、令和7年度は6月から8月にかけて歴代最高気温を記録するとともに梅雨の期間が短かったことによる渇水の影響など気象リスクは益々大きなものとなっている。

全国的には、地震や夏の高温、大雨や台風等の影響による河川の氾濫、各地で大規模な火災や林野火災が発生し家屋が損傷するなどの被害がでている。特に9月には台風15号が太平洋沿岸を横断し、隣県の静岡県では大規模な竜巻が発生し、農業用ハウスや家屋が倒壊するなど大きな被害をもたらした。また、気象災害だけでなくクマの出没情報が連日のように報道され農作物だけでなく、人的被害も発生している。

山梨県においては、幸いにして大きな災害の発生はなかったが、果実では春先の天候不順による結実不良や高温による着色不良、高温乾燥後の降雨による裂果や病害が発生、水稲では長雨による倒伏や山間地の一部ほ場ではイノシシなどによる食害や踏み倒しなどの被害があった。

このようななか、共済金・保険金等の迅速・的確な支払いはもとより、あらゆるリスクから農業経営を守るために農業保険が持つ基幹的セーフティネットとしての役割を農村現場に一層浸透すべく「より身近に、より丁寧に、農家のもとへ」を行動スローガンに農業共済・収入保険の2つのセーフティネットの加入を促進し、農家ニーズにあった制度の普及に努めた。高齢化による廃業や規模縮小、収入保険への移行などにより引受が減少する事業もあったが、園芸施設の新設や新規就農者などの新たな加入者の獲得をしており、両制度の農家への普及・周知は着実に進んでいる。各事業の実績は次のとおりである。

果樹共済は収入保険制度への移行などにより、加入面積で約562ヘクタール（前年対比88.1%）となり、支払共済金は雨害や春先の天候不順による結実不良、病気などにより総額3,600万円を被害農家に支払った。

農作物共済の水稲においては、廃業や規模縮小などにより面積前年対比95.2%、麦においては、収入保険への移行等により、面積前年対比61.6%の引受となった。水稲の被害は、山間地を中心にシカやイノシシなどによる食害や踏み倒し、大雨等による倒伏が発生した。

畑作物共済（大豆）は、作付けの中止や規模縮小等により、約13ヘクタール（前年対比75.4%）の引受となった。被害については、前線や低気圧の影響で土壌湿潤害が発生した。

家畜共済は、畜産農家の廃業等もあり、引受は25,326頭（前年対比92.4%）、総共済金額（補償額）は21億4,805万円（前年対比99.8%）、支払共済金は1億370万円（前年対比99.1%）で死産事故は、前年対比81.3%の減、病傷事故は、前年対比118.2%の増となった。

園芸施設共済については、未加入農家へ全戸訪問等を行い、加入戸数は1,387戸（前年対比101.9%）、加入棟数は2,616棟（前年対比101.9%）となった。支払共済金は風害により約541万円（前年対比72.9%）と前年を下回った。

建物共済の共済金額（補償額）は前年対比98.4%の約3,507億円に止まった。共済掛金は火災共済から総合共済への変更や特約附帯などにより4億8,903万円となった。支払共済金は自然災害等により前年対比104.8%の約1億3,583万円の共済金を支払った。

引受総共済金額3,658億円、計画対比95.7%となった。

収入保険については、個人1,701経営体、法人94経営体、合計で1,795経営体（前年対比107.6%）の獲得となった。

(1) 農作物共済関係

(概況)

引受面積については、水稲は高齢化による廃業や規模縮小などにより260,279.0a（前年対比95.2%）となった。また、麦は法人の収入保険移行や、作付規模縮小により減少し、1,649.0a（前年対比61.6%）となった。
被害については、水稲では、山間地を中心にイノシシやシカによる食害及び踏み倒しの被害が発生した。また、8月の大雨等により、倒伏等が発生したほか、一部地域でいもち病、スズメによる食害、カメムシの吸汁による被害も発生した。麦については、無被害となった。

(引受)

年産	共済目的	組員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) ± (B)
		人	a	円	円	円	円
令和 7年産	水稲	7,700	260,279.0	2,554,012,083	2,535,001	2,083,627	/
	麦 (変更前)	6	2,678.1	6,164,191	28,358	15,855	
	麦 (変更後)	6	2,678.1	5,123,941	26,049	14,988	
	計	7,706	262,957.1	2,559,136,024	2,561,050	2,098,615	
令和 8年産	麦	4	1,649.0	2,998,842	13,624	7,885	/

△：納入保険料

(被害)

共済目的	被害組員数	共済金	$\frac{\text{共済金}}{\text{共済金額}}$
	人	円	%
水稲	100	3,965,160	0.2
麦	0	0	0.0
計	100	3,965,160	0.2

(支払)

共済目的	支払月日	実支払共済金	共済金支払財源					$\frac{\text{実支払共済金}}{\text{共済金}}$
			保険金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	
		円	円	円	円	円	円	%
水稲	12月15日	3,965,160	/	3,965,160	/	/	0	100.0
麦		0	/	0	/	/	0	0.0
計	—	3,965,160	0	3,965,160	0	0	0	100.0

(損害防止)

- ・水稲種子消毒 テクリードCフロアブル、スミチオン
- ・産業用無人ヘリコプター及び背負い式動噴により水稲本田消毒 オリゼメート粒剤（いもち病常発地域）

(2) 家畜共済

(概況)

引受については、死亡廃用共済で頭数が18,181頭、共済金額が1,874,300千円、疾病傷害共済で頭数が7,145頭、共済金額が273,750千円となり、共済金額の合計は2,148,050千円（前年対比99.8%）となった。
 事故については、支払共済金が死廃事故で前年対比81.3%、病傷事故で前年対比118.2%と増加した。総支払共済金は103,703,876円で、前年対比99.1%となった。

(引受)

区分	項目	有資格頭数	事業計画頭数	引受頭数	引受頭数／事業計画頭数	共済金額
		頭	頭	頭	%	千円
死亡廃用共済	搾乳牛	3,026	2,700	2,743	101.6	314,021
	育成乳牛 (子牛等)		1,373 169	1,566 290	114.1	154,525 8,739
	繁殖用雌牛	4,791	600	518	86.3	109,892
	育成・肥育牛 (子牛等)		7,878 945	7,627 944	96.8	1,170,404 43,395
	繁殖用雌馬	0	0	0	-	0
	育成・肥育馬	10	0	0	-	0
	種豚	1,042	1,200	1,150	95.8	59,549
	肉豚	8,446	6,143	4,577	74.5	65,909
	種雄牛	0	0	0	-	0
	種雄馬	0	0	0	-	0
	計	17,315	19,894	18,181	91.4	1,874,300
	疾病傷害共済	乳用牛 (子牛等)	3,026	2,890 103	2,830 153	97.9
肉用牛 (子牛等)		4,791	4,599 519	4,315 478	93.8	140,279 8,855
一般馬		10	0	0	-	0
種豚		1,042	0	0	-	0
種雄牛		0	0	0	-	0
種雄馬		0	0	0	-	0
計		8,869	7,489	7,145	95.4	273,750
合計	26,184	27,383	25,326	92.5	2,148,050	

区分	項目	徴収共済掛金	納入保険料	交付金	手持共済掛金
		円	円	円	円
死亡廃用共済	搾乳牛	11,576,304	/	/	/
	育成乳牛 (子牛等)	1,281,664			
	繁殖用雌牛	1,013,159			
	育成・肥育牛 (子牛等)	12,940,612			
	繁殖用雌馬	0			
	育成・肥育馬	0			
	種豚	15,449			
	肉豚	34,017			
	種雄牛	0			
	種雄馬	0			
計	26,861,205				
疾病傷害共済	乳用牛 (子牛等)	15,820,834	/	/	/
	肉用牛 (子牛等)	8,849,251			
	一般馬	0			
	種豚	0			
	種雄牛	0			
	種雄馬	0			
計	24,670,085				
合計	51,531,290	0	51,885,876	103,417,166	

(事 故)

区分	死亡廃用共済			
	死亡頭数	廃用頭数	総頭数	支払共済金
	頭	頭	頭	円
搾乳牛	113	134	247	16,306,914
育成乳牛 (子牛等)	84	5	89	2,073,928
	74			
繁殖用雌牛	9	6	15	2,560,671
育成・肥育牛 (子牛等)	244	38	282	22,964,637
	192			
繁殖用雌馬	0	0	0	0
育成・肥育馬	0	0	0	0
種豚	0	0	0	0
肉豚	0	0	0	0
種雄牛	0	0	0	0
種雄馬	0	0	0	0
計	450	183	633	43,906,150

区分	疾病傷害共済	
	件数	支払共済金
	件	円
乳用牛	3,346	40,207,309
肉用牛	2,376	19,590,417
一般馬	0	0
種豚	0	0
種雄牛	0	0
種雄馬	0	0
計	5,722	59,797,726

(損害防止)

実施種目		対象頭数又は回数	経費概算	摘要
特定損害防止		頭(回) 1,467	円 5,289,830	
一般 損害 防止	畜舎環境改善他	12,860	334,610	畜舎消毒の薬剤(豚熱対策)、糞取り紙等の環境衛生薬剤、飼養管理のための畜産資材の配布を行った。
	導入・予防等	7,133	1,718,720	肥育牛導入時の疾病予防注射・ビタミンA欠乏症及び下痢予防対策として薬剤等を配布した。
	削蹄	2,207	2,207,000	

(診療所)

診療所名	職員数	管内		診療件数		損害防止事業			摘要
		有資格頭数	加入頭数	共済事故	事故外	一般	特損	経費概算	
	人	頭	頭	頭	件	頭(回)	頭(回)	円	
計	10	7,817	7,145	5,372	1,780	12,860	1,467	9,550,160	

(3) 果樹共済関係

(概況)

引受については、収入保険への移行や高齢化・規模縮小等による継続の中止により、56,166.6a（前年対比88.1%）となった。
被害については、急激な降雨による裂果や病害などが発生した。これらの被害により、197戸の農家に対して総額約3,600万円（前年対比34.9%）の共済金を支払った。

(引受)

年度	果樹区分		組員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)±(B)
			人	a	円	円	円	円
令和7年度	半相殺総合一般	ぶどう	264	7,823.8	522,280,000	11,832,094		
		もも	97	2,790.2	132,760,000	2,641,369		
		すもも	14	173.0	4,710,000	207,394		
		かき	35	614.5	14,650,000	431,386		
		計	410	11,401.5	674,400,000	15,112,243	12,416,233	27,528,476
	半相殺総合短縮	ぶどう	967	28,102.9	1,724,750,000	24,232,945		
		もも	456	13,349.5	566,800,000	7,260,143		
		すもも	179	2,827.2	70,960,000	2,236,836		
		りんご	14	284.4	3,960,000	128,443		
		計	1,616	44,564.0	2,366,470,000	33,858,367	27,773,149	61,631,516
	小計		2,026	55,965.5	3,040,870,000	48,970,610	40,189,382	89,159,992
	樹体	ぶどう	9	201.1	41,380,000	117,738	113,684	231,422
		もも	0	0.0	0	0	0	0
	合計		2,035	56,166.6	3,082,250,000	49,088,348	40,303,066	89,391,414

△：納入保険料

年度	果樹区分		組員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)±(B)
			人	a	円	円	円	円
令和6年度	半相殺総合一般	ぶどう	284	8,565.2	538,580,000	12,192,072		
		もも	103	3,211.7	139,380,000	2,626,969		
		すもも	17	206.0	5,520,000	220,629		
		かき	37	634.5	15,700,000	441,684		
		計	441	12,617.4	699,180,000	15,481,354	12,122,299	27,603,653
	半相殺総合短縮	ぶどう	1,075	31,430.0	1,851,380,000	26,504,358		
		もも	528	15,875.5	633,820,000	8,167,956		
		すもも	205	3,286.7	81,460,000	2,694,366		
		りんご	16	306.5	3,860,000	126,533		
		計	1,824	50,898.7	2,570,520,000	37,493,213	30,638,721	68,131,934
	小計		2,265	63,516.1	3,269,700,000	52,974,567	42,761,020	95,735,587
	樹体	ぶどう	11	234.4	48,320,000	87,453	84,040	171,493
		もも	0	0.0	0	0	0	0
	合計		2,276	63,750.5	3,318,020,000	53,062,020	42,845,060	95,907,080

△：納入保険料

(被 害)

果樹区分		被害組合員数	共 済 金	$\frac{\text{共済金}}{\text{共済金額}}$
		人	円	%
半相殺総合一般	ぶどう	31	7,123,000	1.3
	もも	7	1,273,500	0.9
	すもも	2	288,800	5.2
	かき	3	202,200	1.3
半相殺総合短縮	ぶどう	104	21,450,500	1.2
	もも	36	4,837,900	0.8
	すもも	14	827,100	1.0
	りんご	0	0	0.0
樹体	ぶどう	0	0	0.0
	もも			
計		197	36,003,000	1.1

(支 払)

区分	項目	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					$\frac{\text{実支払共済金}}{\text{共済金}}$
				保険金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	
			円	円	円	円	円	円	%
半相殺総合一般	ぶどう	12月19日	7,123,000		7,123,000				100.0
	もも	12月19日	1,273,500		1,273,500				100.0
	すもも	10月27日	288,800		288,800				100.0
	かき	1月26日	202,200		202,200				100.0
半相殺総合短縮	ぶどう	12月19日	21,450,500		21,450,500			0	100.0
	もも	12月19日	4,837,900		4,837,900			0	100.0
	すもも	10月27日	827,100		827,100				100.0
	りんご	—	0		0				—
樹体	ぶどう	—	0		0				—
	もも								—
計		—	36,003,000	0	36,003,000	0	0	0	100.0

(4) 畑作物共済関係

(概況)

引受については、法人の営農計画変更等により作付けが減少し、1,348.1a（前年対比75.4%）となった。
被害については、生育初期の土壌湿潤により生育不良となり、枯死や莢数の減少等により減収した。

(引受)

年度	共済目的	組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) ± (B)
令和7年度	大豆	13人	1,348.1 ^a	695,499円	9,213円	2,112円	11,325円

△：納入保険料

(被害)

共済目的	被害組合員数	共済金	$\frac{\text{共済金}}{\text{共済金額}}$
大豆	3人	37,340円	5.4%

(支払)

共済目的	支払月日	実支払共済金	共済金支払財源				$\frac{\text{実支払共済金}}{\text{共済金}}$
			保険金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	
大豆	3月30日	37,340円	21,900円	11,325円	4,115円	0円	100.0%

(5) 園芸施設共済関係

(概況)

引受については、重点地域や重点期間を設定し集中的に未加入者へ個別訪問による推進を行い、棟数は48棟（前年対比101.9%）、面積は53,360㎡（前年対比104.7%）、共済金額は92,810千円（前年対比102.1%）の増加となった。
被害については、風害により約541万円（前年対比72.9%）の支払いとなった。

(引受)

施設区分	項目	組員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額	徴収共済掛金		手持共済掛金
							(A)	(B)	
ガラス室	1類			㎡	千円	千円	円	円	円
	2類	40	67	54,676	981,569	855,432	493,589	164,024	657,613
プラスチックハウス	1類	2	4	471	1,060	848	7,851	6,542	14,393
	2類	975	1,766	597,874	2,274,681	1,639,644	15,612,734	507,429	16,120,163
	3類	24	34	23,269	106,419	80,122	208,201	42,325	250,526
	4類甲	52	77	57,432	544,258	363,646	878,876	226,150	1,105,026
	4類乙	48	92	60,534	602,734	418,689	795,884	283,400	1,079,284
	5類	22	25	13,101	139,691	105,200	230,338	141,241	371,579
	6類	224	551	389,133	1,272,441	994,946	2,334,993	987,323	3,322,316
7類									
計		1,387	2,616	1,196,490	5,922,853	4,458,527	20,562,466	2,358,434	22,920,900

△：納入保険料

(被害)

施設区分	項目	被害			損害の額	共済金				共済金 共済金額
		組員数	棟数	附帯施設数		特定園芸施設	附帯施設	施設内農作物	合計	
ガラス室	1類	人	棟	基	円	円	円	円	円	%
	2類	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
プラスチックハウス	1類	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	2類	53	63	1	5,825,897	4,384,382	236,294	0	4,620,676	0.28
	3類	1	1	0	110,468	88,374	0	0	88,374	0.11
	4類甲	1	1	0	12,361	9,888	0	0	9,888	0.00
	4類乙	1	2	0	175,337	140,269	0	0	140,269	0.03
	5類	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	6類	3	3	0	685,605	548,483	0	0	548,483	0.06
7類										—
計		59	70	1	6,809,668	5,171,396	236,294	0	5,407,690	0.12

(支払)

実支払共済金	共済金支払財源					実支払共済金 共済金
	保険金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	
円	円	円	円	円	円	%
5,407,690	3,222	5,404,468	0	0	0	100.0

(6) 任意共済関係

1 建物共済
(概況)

引受については、目標管理等の徹底を図ったが、共済金額は前年実績に対し約57億円（前年対比98.4%）の減、目標に対し約160億円（計画対比95.6%）下回った。
事故については、火災や自然災害などにより、約1億3,600万円の支払いとなった。

(引受関係)

区分	項目 加入棟数	共済金額	共済掛金		1棟当たり 平均共済金額	任意保険料	保険手数料
			純共済掛金	賦課金			
火災共済	棟 17,039	円 205,309,930,000	円 90,345,894	円 73,713,676	円 12,049,412	円 199,243,083	円 47,981,504
総合共済	12,697	145,435,790,000	240,909,947	84,059,543	11,454,343		
計	29,736	350,745,720,000	331,255,841	157,773,219	11,795,323	199,243,083	47,981,504

総共済掛金	489,029,060 円	任意保険割合 30% たゞし地震部分 50%
		保険手数料割合 24.1%

(事故関係)

区分	項目 事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金(ロ)		任意保険金	被害率 (ロ)/(イ)	備考
			火災等	風水害等			
火災共済	棟 70	円 872,100,000	円 38,175,357	円 -	円 11,452,576	% 4.38	
総合共済	197	2,945,090,000	47,055,412	50,603,476	29,297,589	3.32	
計	実 261	3,817,190,000	85,230,769	50,603,476	40,750,165	3.56	
	延 267						

(建物共済原因別事故発生状況)

事故の原因別		事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金(ロ)	任意保険金	被害率 (ロ)/(イ)	備考
火災共済	失火	棟 3	円 21,900,000	円 20,249,518	円 6,074,854	% 92.46	
	類焼	5	25,380,000	4,663,853	1,399,154	18.38	
	落雷等	62	824,820,000	13,261,986	3,978,568	1.61	
	小計	70	872,100,000	38,175,357	11,452,576	4.38	
総合共済	風雪水害等	112	1,591,130,000	50,603,476	15,180,993	3.18	
	失火・類焼・落雷等	85	1,353,960,000	47,055,412	14,116,596	3.48	
	小計	197	2,945,090,000	97,658,888	29,297,589	3.32	
合計		267	3,817,190,000	135,834,245	40,750,165	3.56	

2 農機具損害共済

(概況)

引受については、新規加入推進の取組みなどにより、共済金額は前年実績に対し約2億400万円（前年対比107.7%）の増、目標に対し約1億6,200万円（計画対比106.0%）上回った。
事故については、稼働中の接触などにより、約1,300万円の支払いとなった。

(引受関係)

区分	項目 加入台数	共済金額	共済掛金		1台当たり 平均共済金額	備考
			純共済掛金	賦課金		
農機具損害共済	台 2,020	円 2,853,960,000	円 7,791,143	円 5,004,429	円 1,412,851	

(事故関係)

事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被害率(ロ)/(イ)	備考
台 46	円 113,300,000	円 13,006,500	% 11.48	

(7) 業務関係

ア 重要な処理事項

年 月 日	処 理 事 項
令和7年	
4月 1日	辞令交付式 (本所) 新人職員研修 (～11日 職業能力開発協会、本所)
11日	第1回監事会 (本所) 令和7年度第1回任意共済事業推進担当者会議 (TV 会議)
14日	令和7年度収入保険の更なる信頼確保に向けた取組強化に係る会議 (本所)
15日	決算監査 (南アルプス支所)
16日	決算監査 (北部支所・家畜診療所峡北連絡所) 広報技術研修会 (本所)
17日	決算監査 (中央支所)
18日	役員推薦会議 (本所)
21日	農作物・畑作物共済担当者会議 (本所) 任意共済担当者会議 (本所)
23日	令和7年度農業保険に関する会議 (TV 会議) 全国広報参事等会議 (TV 会議) 第1回収入保険・園芸施設共済加入拡大会議 (本所) 表彰審査会、第1回参事・部長・支所長会議 (本所)
24日	果樹共済担当者会議 (本所)
25日	第1回正副組合長会議 (本所)
26日	令和8年度採用職場説明会 (本所)
5月 2日	決算監査 (富士支所・家畜診療所富士ヶ嶺連絡所) 関東地区参事会議 (協会)
8日	第1回理事会 (本所)
9日	決算監査 (～12日 本所)
12日	第2回監事会 (本所) 第1回広報技術研修会 (～16日 協会)
13日	関東地区組合長等会議 (～14日 NOSAI 山梨)
15日	損害防止事業担当者会議 (本所)
16日	令和7年度全国連 Web 会議農業経営収入保険事業初任者研修会 及び初任者管理職研修会 (リモート研修)
19日	収入保険担当者会議 (本所) 令和7年度農機具共済専門講習会 (～23日 協会)
21日	第2回収入保険・園芸施設共済加入拡大会議 (本所) 第2回参事・部長・支所長会議 (本所)
22日	第2回理事会 (本所) 第24回通常総代会 (本所)
23日	農業共済新聞関東版第1回編集会議 (協会)
26日	園芸施設共済担当者会議 (本所) 果樹・園芸施設共済損害評価現地講習会

年 月 日	処 理 事 項
28日	正副組合長・代表監事互選会（本所）
30日	家畜共済担当者会議（本所）
6月 2日	ウズベキスタン農業省との意見交換会（本所） 令和7年度普及推進研修会（基礎コース）（～6日 協会）
3日	農薬適正使用指導強化対策会議（TV会議）
7日	令和8年度一般職員採用一次選考（本所）
9日	いもち病一斉防除（～7月1日 富士支所管内）
11日	第1回衛生委員会（本所）
16日	いもち病一斉防除（～7月3日 北部支所管内）
25日	第3回収入保険・園芸施設共済加入拡大会議（本所） 第3回参事・部長・支所長会議（本所） NOSA I協会通常総会、NOSA I全国連通常総会、 第1回全国特定組合長等会議（協会）
26日	令和8年度一般職員採用二次選考（本所） 令和7年度農水省主催家畜共済研修会（～27日 リモート研修）
27日	第1回余裕金運用管理委員会（本所）
30日	果樹共済（ぶどう）損害評価現地講習会（北部支所管内）
7月 2日	令和7年度損害評価会委員会会議（本所）
4日	第1回支所等別コンプライアンス研修会（峡北連絡所・富士ヶ嶺連絡所）
7日	第1回支所等別コンプライアンス研修会（本所）
8日	第1回支所等別コンプライアンス研修会（南アルプス支所・北部支所）
9日	令和7年度営業力強化研修会（本所） 令和7年度第1回全国参事会議（協会）
10日	第15回山梨県収入保険推進協議会通常総会（本所） 第1回支所等別コンプライアンス研修会（中央支所・富士支所）
14日	第1回内部監査（～17日 中央支所）
15日	令和7年度農水省主催果樹共済研修会（リモート研修）
17日	第2回正副組合長会議（本所）
22日	第1回内部監査（～25日 南アルプス支所） 第1回人事評価研修会（本所）
23日	第4回収入保険・園芸施設共済加入拡大会議（本所） 第4回参事・部長・支所長会議（本所）
25日	令和8年度一般職員採用二次再選考（本所）
28日	第1回内部監査（～31日 北部支所）
29日	第1回富士支所運営委員会（富士支所） 令和7年度第2回任意共済事業推進担当者会議（協会） 令和7年度収入保険担当者研修会（リモート研修）
30日	第3回理事会（本所）
31日	第1回北部支所運営委員会（北部支所） 第2回果樹共済担当者会議（本所）

年 月 日	処 理 事 項
8月 4日	第1回内部監査（～7日 富士支所）
6日	農水省農業共済団体の運営状況に関するヒアリング（TV会議）
12日	第1回内部監査（～19日 本所）
22日	第5回収入保険・園芸施設共済加入拡大会議（本所） 表彰審査会、第5回参事・部長・支所長会議（本所）
25日	第2回広報技術研修会（～29日 協会） 令和7年度建物共済損害評価技術研修会 （～29日 千葉県 JA 共済幕張研修センター）
26日	第1回防火防災管理委員会（本所）
27日	第2回余裕金運用管理委員会（本所） 令和7年度「未来へつなぐ」サポート運動全国推進会議（TV会議）
29日	令和7年度関東地区収入保険担当者会議（協会）
9月 3日	第2回全国特定組合長等会議（協会）
10日	第2回衛生委員会（本所）
11日	第1回コンプライアンス改善委員会（本所）
17日	第3回正副組合長会議（本所） 令和7年度システム運用管理者養成研修会（基礎）（～18日 協会）
18日	令和7年度営業力強化研修会（本所）
19日	第6回収入保険・園芸施設共済加入拡大会議（本所） 第6回参事・部長・支所長会議（本所） 令和7年度農水省主催第1回収入保険Web会議（TV会議）
24日	令和7年度農業経営収入保険初任者研修会（～26日 協会）
25日	NOSA I 会館防災訓練（本所）
30日	第4回理事会（本所）、第1回組合役員（理事）研修会（本所） 令和7年度第2回管理職研修会（～10月3日 協会）
10月 6日	第3回監事会（本所）、第1回組合役員（監事）研修会（本所） 第2回普及推進研修会（～10日 協会）
8日	令和7年度第2回全国参事会議（協会）
10日	令和7年度関東地区指導・広報担当者会議、 農業共済新聞関東版第2回編集会議（NOSA I 千葉）
15日	損害評価会果樹共済部会（すもも：本所）
17日	定時中間監査（中央支所）
18日	山梨県農業まつり（小瀬スポーツ公園）
21日	第7回収入保険・園芸施設共済加入拡大会議（本所） 第7回参事・部長・支所長会議（本所）
22日	定時中間監査（南アルプス支所）
23日	令和7年度第50回任意共済全国研修会（全国町村議員会館）
24日	収入保険加入申請事務手続き研修会（本所）
26日	富士吉田市農業まつり（富士吉田市）
27日	定時中間監査（北部支所・家畜診療所峡北連絡所）
29日	定時中間監査（富士支所・家畜診療所富士ヶ嶺連絡所）

年 月 日	処 理 事 項
30日	収入保険実務担当者WEB研修会（リモート研修）
31日	関東広域連携協議会設立に向けた検討会（協会）
11月 4日	収入保険・園芸施設共済地域別説明会（笛吹市スコレーセンター）
5日	定時中間監査（・6日 本所）
6日	第4回監事会（本所）
7日	収入保険・園芸施設共済地域別説明会（甲府市南公民館） 令和7年度農水省主催園芸施設共済研修会（リモート研修） 令和7年度農水省主催法令等研修会（リモート研修）
10日	令和7年度第2回幹部職員研修会（～12日 協会）
12日	収入保険・園芸施設共済地域別説明会（甲州市民文化会館）
13日	コンプライアンス全職員研修会（本所）
14日	収入保険・園芸施設共済地域別説明会（山梨市民会館） 収入保険説明会・個別相談会（南アルプス支所） 水稲栽培講座・収入保険説明会（須玉ふれあい館） 令和7年度関東地区家畜共済担当者会議（協会）
17日	第2回富士支所運営委員会（富士支所）
18日	水稲栽培講座・収入保険説明会（東京エレクトロン韮崎文化ホール） 第2回人事評価研修会（本所）
19日	第3回余裕金運用管理委員会（本所） 水稲栽培講座・収入保険説明会（敷島総合文化会館）
20日	第8回収入保険・園芸施設共済加入拡大会議（本所） 第8回参事・部長・支所長会議（本所）
21日	第4回正副組合長会議（本所）
25日	支所別コンプライアンス研修会（中央支所・富士支所）
26日	「未来へつなぐ」サポート運動令和7年度全国NOSA I大会 （東京・一ツ橋ホール）
27日	第16回山梨県収入保険推進協議会臨時総会（本所）
12月 1日	令和7年度災害に備えた強い施設園芸推進会議（TV会議） 令和7年度建物共済専門講習会（～5日 協会）
2日	支所別コンプライアンス研修会（家畜診療所・本所）
3日	損害評価会果樹共済部会（ぶどう・もも：本所） 支所別コンプライアンス研修会（南アルプス支所・北部支所）
4日	第5回理事会（本所） 第2回内部監査（峡北連絡所・富士ヶ嶺連絡所）
5日	損害評価会農作物共済部会（水稲：本所） 令和7年度農水省主催経理研修会（リモート研修）
8日	第2回内部監査（～11日 富士支所）
9日	第2回南アルプス支所運営委員会（南アルプス支所）
10日	第3回衛生委員会（本所）
11日	令和7年度関東地区建物共済担当者会議（協会）
15日	第2回内部監査（～18日 中央支所）

年 月 日	処 理 事 項
1 6 日	第 2 回中央支所運営委員会 (中央支所)
1 7 日	第 9 回収入保険・園芸施設共済加入拡大会議 (本所) 第 9 回参事・部長・支所長会議 (本所)
1 8 日	第 2 回北部支所運営委員会 (北部支所)
2 2 日	第 2 回内部監査 (～ 2 5 日 北部支所)
令和 8 年	
1 月 6 日	第 2 回内部監査 (～ 9 日 南アルプス支所)
1 3 日	第 2 回内部監査 (～ 1 6 日 本所) 第 2 回損害防止事業担当者会議 (本所)
1 5 日	損害評価会果樹共済部会 (かき・りんご: 本所)
1 6 日	関東地区事務機械化担当者会議 (協会)
1 9 日	山梨県常例検査 (～ 2 3 日 本所・支所) 第 3 回管理職養成研修会 (～ 3 0 日 協会)
2 1 日	令和 7 年度家畜共済事業に係る全国説明会 (TV 会議) 令和 7 年度農水省主催第 2 回収入保険 Web 会議 (TV 会議)
2 7 日	第 1 0 回収入保険・園芸施設共済加入拡大会議 (本所) 第 1 0 回参事・部長・支所長会議 (本所)
2 8 日	令和 7 年度国有財産監査 (中央支所)
2 9 日	第 2 5 回臨時総代会 (本所)
3 0 日	関東地区参事会議 (協会)
2 月 2 日	第 3 回普及推進研修会 (実践コース) (～ 6 日 協会)
5 日	関東地区園芸施設共済担当者会議 (協会)
6 日	令和 7 年度都道府県農業保険制度関係担当者及び農業共済組合等 総務・指導担当者合同会議 (TV 会議) 関東地区農作物共済・畑作物共済担当者会議 (協会)
1 0 日	関東地区組合長等会議 (協会)
1 2 日	令和 7 年度農業経営収入保険事業審査担当職員研修会 (・ 1 3 日 協会)
1 8 日	第 3 回全国参事会議 (協会) 令和 7 年度農水省主催農作物・畑作物共済研修会 (リモート研修)
1 9 日	第 1 1 回収入保険・園芸施設共済加入拡大会議 (本所) 第 1 1 回参事・部長・支所長会議 (本所) 令和 7 年度農業共済新聞全国研修集会 (・ 2 0 日 ルポール麴町)
2 0 日	令和 7 年度関東地区建物共済損害評価技術研修会 (協会) 全国広報委員会会議 (協会)
2 4 日	第 2 回防火防災管理委員会 (本所)
2 5 日	第 4 回余裕金運用管理委員会 (本所)
2 6 日	第 3 回人事評価研修会 (本所) 令和 7 年度 N O S A I 情報化全国会議 (TV 会議)
2 7 日	関東地区果樹共済担当者会議 (協会) 関東地区総務・経理担当者会議 (協会)

年 月 日	処 理 事 項
3月 3日	収入保険担当者 Web 会議 (TV 会議)
4日	第2回コンプライアンス改善委員会 (本所)
5日	令和7年度組合管理職会議 (本所)
	情報セキュリティ委員会 (本所)
11日	第4回衛生委員会 (本所)
12日	第5回正副組合長会議 (本所)
13日	損害評価会家畜共済部会 (本所)
16日	第12回収入保険・園芸施設共済加入拡大会議 (本所)
17日	損害評価会畑作物共済部会 (大豆：本所)
	第3回中央支所運営委員会 (中央支所)
18日	第3回南アルプス支所運営委員会 (南アルプス支所)
19日	第12回参事・部長・支所長会議 (本所)
	令和7年度家畜診療所運営委員会 (本所)
	令和7年度第3回任意共済事業推進担当者会議 (TV 会議)
24日	第6回理事会 (本所)
25日	全国特定組合長等会議 (協会)
26日	第3回富士支所運営委員会 (富士支所)
27日	第3回北部支所運営委員会 (北部支所)
31日	辞令交付式 (本所)

イ 総代会

(ア) 第24回通常総代会（令和7年5月22日）

総代会日現在の総代数	(A)	146 人	出席率
本人出席	(B)	37 人	(B)／(A) 25.3 %
代理出席		0 人	
書面出席		103 人	
出席者計	(C)	140 人	(C)／(A) 95.9 %

【重要な議事及び議決事項】

- 第1号議案 令和6年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案並びに不足金処理案の承認について
- 第2号議案 令和7年度事業予定計画の設定並びに業務収支予算の承認について
- 第3号議案 令和7年度事務費賦課金の賦課額及び賦課方法の承認について
- 第4号議案 役員、損害評価会委員、支所運営委員、共済部長、損害評価員報酬及び顧問料の承認について
- 第5号議案 特別積立金取崩し並びに農作物共済収支の推計等の承認について
- 第6号議案 役員選任の承認について
- 第7号議案 家畜診療所運営委員及び損害評価会委員の承認について
- 第8号議案 借入金最高限度額及び借入条件等の承認について
- 第9号議案 余裕金の運用先金融機関の承認について
- 第10号議案 役員退任慰労金の承認について
- 第11号議案 事業規程の一部変更の承認について
- 第12号議案 建物共済掛金率等の承認について
- 第13号議案 組合実施体制の改善計画の承認について

(イ) 第25回臨時総代会（令和8年1月29日）

総代会日現在の総代数	(A)	146 人	出席率
本人出席	(B)	8	(B)／(A) 5.5 %
代理出席		0	
書面出席		136	
出席者計	(C)	144	(C)／(A) 98.6 %

【重要な議事及び議決事項】

- 第1号議案 家畜共済の組合員等別危険段階別共済掛金率の承認について
- 第2号議案 定款の一部変更の承認について
- 第3号議案 事業規程の一部変更の承認について

ウ 組合員の増減

年度始組合員数	年度末組合員数	増	減	摘要
27,981 人	27,243 人	△	738 人	

エ 役職員その他

(ア) 役職員

(令和8年3月31日現在)

役員数	理事			監事	合計		
	常勤	1 人	非常勤	9 人	計	10 人	3 人

職員数	事項 性別	参事 人	部長 人	支所長 人	本所						診療所 人	
					業務 専門員 人	技術 顧問 人	総務 人	企画 情報課 人	事業 1課 人	事業 2課 人		収入 保険課 人
	男	1	3	4	2	1		1 (兼1)	2	2	2	4
	女						4	1	2	2	1	5
	計	1	3	4	2	1	4	2	4	4	3	9

職員数	事項 性別	中央支所			南アルプス支所		北部支所		富士支所		合計 人
		事業 1課 人	事業 2課 人	収入 保険課 人	事業 1課 人	事業 2課 人	事業 1課 人	事業 2課 人	事業 1課 人	事業 2課 人	
	男	4	5	2	6	6	4	5	4	4	62
	女	1	1	1	1		2	1	2		24
	計	5	6	3	7	6	6	6	6	4	86

(イ) 総代、支所運営委員、損害評価会委員、共済部長、損害評価員、家畜診療所運営委員

総代	支所運営委員	損害評価会委員	共済部長	損害評価員	家畜診療所運営委員
146 人	70 人	77 人	2,905 人	2,086 人	5 人